

2019年1月9日

各 位

会 社 名 三井海洋開発株式会社
代 表 者 名 代表取締役社長 宮崎 俊郎
(コード番号 6269 東証第1部)
問 合 せ 先 総務部 (TEL. 03-5290-1200)

ブラジル沖における FPSO からの原油流出について

三井海洋開発株式会社(本社:東京都中央区、代表取締役社長:宮崎俊郎)は、当社グループ保有の FPSO (Floating Production, Storage & Offloading system:浮体式海洋石油・ガス生産貯蔵積出設備)1基の貯油タンクからブラジル現地時間本年1月2日に発生した原油 4.9 m³の流出について以下の通りお知らせ致します。

当該 FPSO は、ブラジル沖合 Campos 海盆内に位置する Espadarte 鉱区開発用「FPSO Cidade do Rio de Janeiro MV14」であり、リオデジャネイロ州マカエ市沖合約 169km の海上に係留されています。本 FPSO は、ブラジルの国営石油会社である Petróleo Brasileiro S.A. (以下「ペトロブラス社」、本社リオデジャネイロ市)に対するチャーターサービス(リース及び運転・保守点検等のオペレーション)に供されていますが、本鉱区からの撤去作業に向けて 2018 年 7 月より原油生産を停止しています。

本件については所定の手続きに沿って遅滞なくブラジル当局へ届出を行っており、ペトロブラス社及び当社は、直ちに緊急事態対応を開始し、1月3日の時点で原油の漏洩が無いことを確認しました。また、その後、当該タンクに残留していた原油の積み出し作業を完了したため、さらなる漏洩は無いものと考えております。現在、ペトロブラス社及び当社は、ブラジル当局と緊密に協力し、本件の調査及び原因究明を進めており、また、再発防止対策を講じていく予定です。本件に係る必要な対応措置は全て当社の HSEQ (Health, Safety, Environment, and Quality:環境安全衛生及び品質)管理体制に従って適切に進めて参ります。

当該 FPSO は、ABS (American Bureau of Shipping:米国船級協会)の認証を受けている他、IBAMA (National Institution for Environment and Natural Resources:環境管理院)、ブラジル海軍及び ANP (National Agency for Oil, Natural Gas and Biofuels:国家石油・天然ガス・バイオ燃料監督庁)などのブラジルの機関によって発効された規則を含む、ブラジル国内外の法令・規則に準拠して操業しております。